

目次

序—本書の位置と構成—……………7

第一部 大宰府と九州

第一章 府官系武士団の展開と肥後国……………17

はじめに 17

一 府官系武士団と海上交通 19

二 遠賀川水系の府官系武士団 20

三 菊池氏の展開と肥後国 24

おわりに 36

第二章 大宰府の再生—十一世紀における公卿長官制の成立と対外関係—……………47

はじめに 47

- 一 大宰府政所下文と府長官 48
 - 二 帥親王制と九世紀の東アジア情勢 52
 - 三 公卿長官制の成立 57
- おわりに 61

第三章 白河・鳥羽院政期の大宰府と府目代……………67

- はじめに 67
- 一 十一世紀末期の大宰府 69
 - 二 十二世紀前半の少弐と都督 74
 - 三 在京都督―府目代体制の成立と展開 79
- おわりに 85

第二部 荘園制と地域編成

第四章 摂関家領島津荘とへ辺境へ支配……………93

- はじめに 93
- 一 九州における受領制と大宰府制 94

二 島津本荘の成立と統合機能 98
三 島津荘寄郡の展開と薩摩平氏 103
四 島津荘と南島交易・キカイガシマ 106
おわりに 108

第五章 院政期の肥前社会と荘園制……………117

はじめに 117
一 白河院政期の地域介入と藤津荘事件 119
二 鳥羽院政期の地域支配深化と大江氏・日向氏 123
三 後白河院政期の地域秩序再編と平氏 132
おわりに 137

第六章 瀬戸内海沿岸部の荘園制と平氏——石清水領・賀茂社領を中心に……………147

はじめに 147
一 石清水八幡宮領の様相 149
二 上・下賀茂社領の様相 153
三 瀬戸内海の荘園制と平氏 161
おわりに 164

第三部 肥後国の中世史点描

第七章 平安時代の球磨郡と造寺・造仏

はじめに 175

一 鳥羽院政期の球磨郡と南九州 176

二 造寺・造仏にみる八幡系信仰の展開 182

三 院政期球磨郡の地域社会と造寺・造仏 187

おわりに 194

第八章 大野別符の成立と展開

はじめに 201

一 玉名郡の再編と西郷郡司・大野一族 202

二 大野別符の確立と菊池川 208

三 鎌倉時代の大野氏と大野別符 212

おわりに 220

終 章 莊園制と「日本」社会—周縁からの中世—……………227

はじめに 227

一 受領制と莊園制 230

二 境界の地域権力と莊園制 236

三 鎌倉幕府と周縁支配 242

おわりに 245

あとがき 251

初出一覧 255

索引